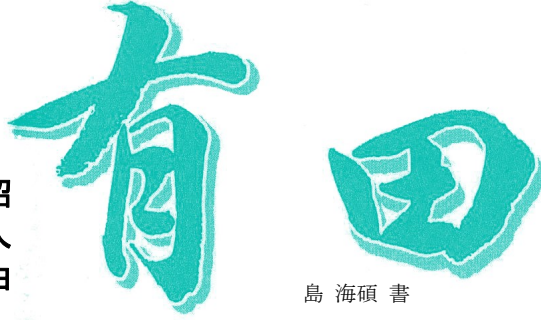


No. 3147

2025-2026年度

会長 木本 隆昭
幹事 児嶋 正人
クラブ広報小委員長 福田 一由



島海碩書

第2640地区

例会日 毎週木曜日 12:30
例会場 紀州有田商工会議所6F
〒649-0304
有田市箕島33-1
紀州有田商工会議所2F
有田ロータリークラブ
Tel (0737) 82-3128
Fax (0737) 82-1020

創立 昭和34年6月15日
ホームページ <http://www.aridarc.jp>
e-mail office@aridarc.jp

～ 四つのテスト 言行はこれに照らしてから ～

- 1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか



よいことのために
手を取りあおう

2025-2026年度クラブ方針

「例会に出席しよう」

みんなに会おう」



次回のお知らせ

本日のプログラム

令和8年4月9日 第3148回

- ・外部卓話：諏訪智也氏（鉄板ダイニングBENK）
「鉄と酵素」
- ・ソング：「四つのテスト」

令和8年4月16日 第3149回

- ・外部卓話：川村 健一郎氏（有田鉄道(株)）
「有田鉄道株式会社 地域公共交通機関として」
- ・ソング：「我等の生業」

前回の報告（第3147回例会）

開催日 令和8年4月2日(木)

点鐘 [木本会長]

今月の誕生日

[親睦活動小委員会 酒井委員長]

会員誕生：児嶋正人君(4/16)、嶋田恵君(4/16)、
橋爪誠治君(4/19)

配偶者誕生：木本真理さん(4/23)



4月お誕生日

(右から)
児嶋君、嶋田君、
橋爪(誠)君
おめでとう
ございます！

ニコニコ箱の報告 [川口SAA]

木本君：中村先生、本日の卓話宜しくお祝い致します。
児嶋君：中村吉伸君、本日の卓話よろしくお祝い致します。
読売ジャイアンツ調子上がって来ましたね！！
成川(守)君：中村先生、卓話ありがとうございます。
石垣君：中村吉伸様、本日の卓話よろしくお祝い致します。
岩橋君：中村先生、卓話よろしくお祝いします。
上野山(捷)君：中村吉伸様、本日の卓話よろしくお祝い致します。
橋爪(正)君：中村吉伸様、本日の卓話御苦労さまです。
どうぞよろしく。
中村君：本日卓話させて頂きます。宜しくお祝い致します。
宮井君：中村吉伸君、本日の卓話宜しくお祝い致します。

出席報告

[クラブ管理運営委員会 松村副委員長]

本日の出席者19名/24名
(うち出席規定免除者7名/7名)

会長の時間 [木本会長]

みなさん、こんにちは。今日から4月の例会です。私は登山をしますが、山登りでいえば、8合目付近というところでしょうか。山は8合目付近から急こう配になり、富士山でいう胸突き八丁のような坂が多いです。私は、この辺になると息切れがはげしくなり、ペースがかなり落ちます。そして一緒に登ってるメンバーの背中が見えなくなります。それでも一人黙々と登りますが、その結果道に迷ったこともあります。道に迷うと人が歩いていないので大変不安でした。ロータリーではそういうことがないよう、のこり3カ月しっかりと歩んでいきたいと思ひます。



さて、4月はロータリーの環境月間です。ちょうど登山の話がでたので、今日は登山における環境問題についてお話しします。

登山が引き起こす主な環境問題として、以下のような問題があります。

1. **登山道の荒廃と浸食**: 多くの登山者が歩くことで土壌が固められ、雨水が浸透せずに流れやすくなり、登山道が深く削れる(洗堀)現象が発生しています。
2. **植生の破壊と裸地化**: 登山道を外れて歩くこと(歩行の分散)で、高山植物が踏み荒らされ、希少な植生が失われています。
3. **トイレ問題と水質汚染**: 山小屋のトイレ処理能力を超えたし尿や、野外での不適切な排泄は、悪臭や衛生上の問題、周辺の環境汚染につながります。
4. **ゴミの散乱**: 食べ物の包装や使用済みティッシュなどの持ち帰りが徹底されず、野生動物が誤食するリスクがあります。
5. **オーバーツーリズム**: 人気の山(屋久島・縄文杉など)では、許容量を超える利用者が押し寄せ、自然環境の維持が困難になっています。

環境保全のための登山マナーとして以下の環境行動指針があげられます。

1. **ゴミは全て持ち帰る**: 山にゴミは捨てず、袋を持参して必ず持ち帰ること。
2. **携帯トイレを利用する**: トイレがない場所での排泄を避け、携帯トイレを持参し処理すること。
3. **登山道を外れない**: 植生を守るため、指定された登山道のみを歩くこと。
4. **ストックのキャップ装着**: 登山道を傷つけないよう、トレッキングポールの先端にはキャップを装着すること。
5. **ローカルルールに従う**: 各山の地域ルールや、山小屋のルールを尊重すること。

これから、登山シーズンにはありますが、私は環境保全には十分注意して山登りを楽しむことを誓います。

幹事報告

[児嶋幹事]

1. 財団室NEWS2026年4月号が届いています。
2. 公益財団法人 米山梅吉記念館より館報が届いています。
3. 4月のロータリーレートは1ドル160円です。
4. 本日例会終了後、第10回定例理事会を開催します理事の方々宜しくお願い致します。
5. 例会変更の案内 後方掲示



「がん教育について」

平成18年がん対策基本法が公布され、第二次がん対策推進基本計画の中で個別目標として子供たちに対するがんの教育・普及啓発が記載されました。そして平成27年がん対策加速化プランではがんの予防、治療、研究、共生が策定され、このうちがん教育は予防分野に含まれ「がん教育総合支援事業」として実施されることになりました。

実施に際してはいくつかの課題が指摘されていて、教員のがんについての正しい知識や理解が不十分であること、外部講師の確保が困難であることや、講師への学校での指導方法等についての研修が不十分であること、保健福祉部、医師、学識経験者、がん経験者などの連携が十分でないことなどが挙げられています。私は県立箕島高校の学校医で一昨年同校からがん教育の一環として授業の依頼があり、資料を作成することになりました。学校の授業は通常の講演とは異なり、文部科学省の指導要綱に沿った内容で行わなければなりません。文部科学省のホームページにはがん教育の資料として「がんという病気」「日本のがんの現状」「がんの発生と進行」「がんの予防」「がん検診の意味」「がん治療と支援」「がん患者の思い」「がん患者と共に生きる社会」などの項目別に授業用パワーポイントが多数掲載されています。これをすべて時間内に説明するのは困難であるため要点を抜粋し、治療の項目では手術ロボットや放射線治療装置、抗がん剤などの写真も挿入しながら出来るだけ生徒に注目してもらえるよう工夫して約50分間の授業を行いました。がん教育には様々な項目がありますが、がんの詳細よりもむしろがん患者の思いを理解させること、がん患者への支援、がん患者と共生できる社会について考えさせることが重要ではないかと感じました。

前述したように外部講師の選任には各学校とも苦慮しているところではありますが、幸いにも本市には昭和52年のコレラ禍以降、学校と医師会が密に連携する学校保健協議会が設立されています。学校医あるいは地元医師会、歯科医師会、薬剤師会などが中心となつてがん教育の推進に協力して行かなくてはならないと思います。

閉会・点鐘

[木本会長]



卓話



会員
中村 吉伸 君



